

高い確率で発生する(異常気象)南海トラフ地震・風水害に備えましょう。命を守る行動を!!

地震調査研究推進本部(文部科学省研究開発局地震・防災研究課)によると、

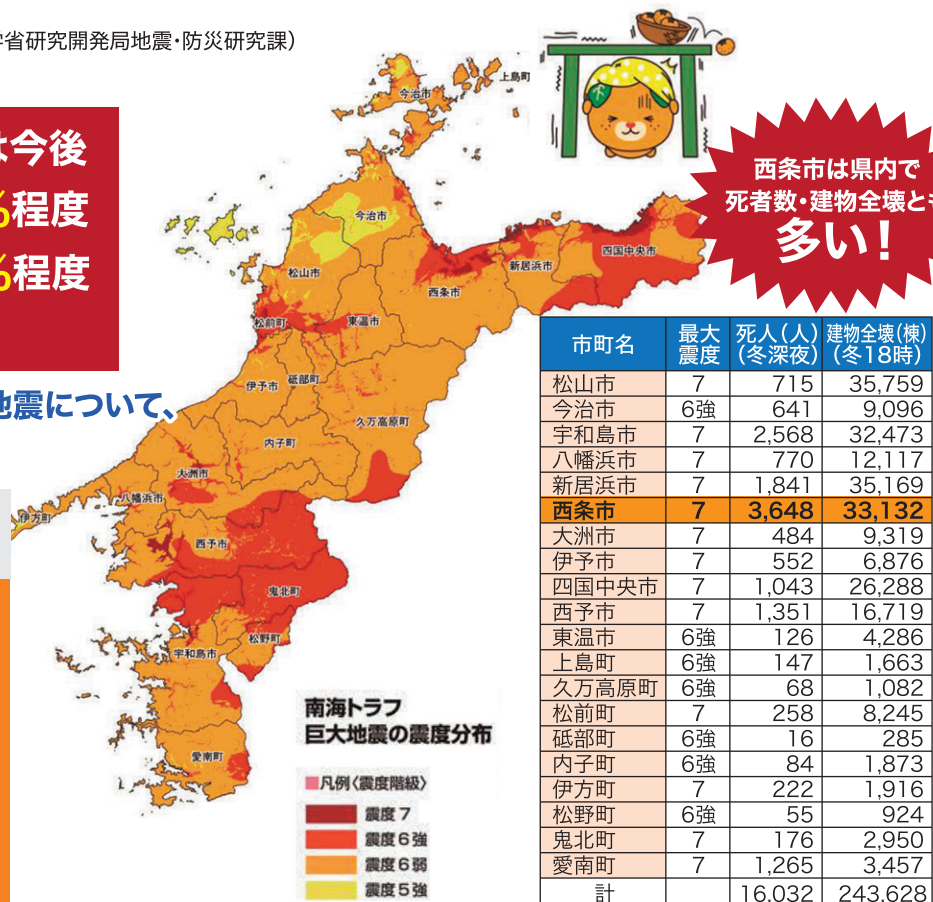
南海地震の発生確率は今後
30年以内で**70%程度**
50年以内は**90%程度**
にも及んでいます。

近い将来、必ず発生する南海地震について、
備える時が来ています。

■愛媛県地震被害想定調査 (H25.6.10公表)

【愛媛県の想定結果】 (南海トラフ巨大地震)

一部を除く県全域で震度6弱以上になり、低地では震度6強以上となると想定されています。
13市町の平野の一部では、震度7になると想定されています。



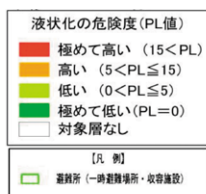
西条市は県内で
死者数・建物全壊とも
多い!

『西条市防災マップ』で自分の住んでいる 地域の危険度や避難所などをチェック!

最新防災情報を
西条市のHPで
確認してみましょう。



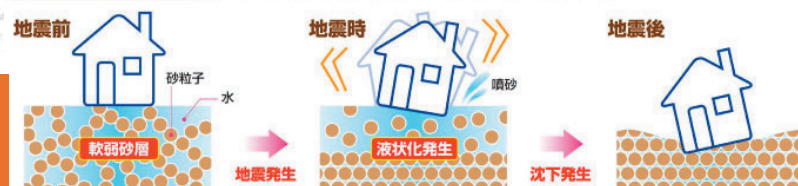
西条市 HP
防災マップ
避難所



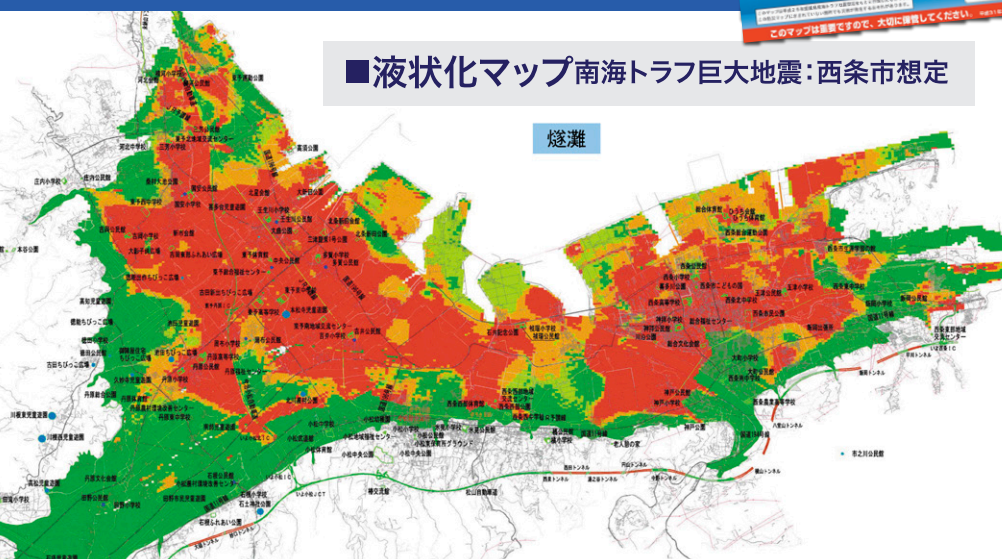
※西条市防災マップより

液状化とは?

地震によって地盤が一時的に液体になってしまう現象。
地下水位が高く、ゆるい砂からできた地盤に、地震の揺れが加わると、液状化現象が発生する可能性が高まります。



■液状化マップ南海トラフ巨大地震:西条市想定

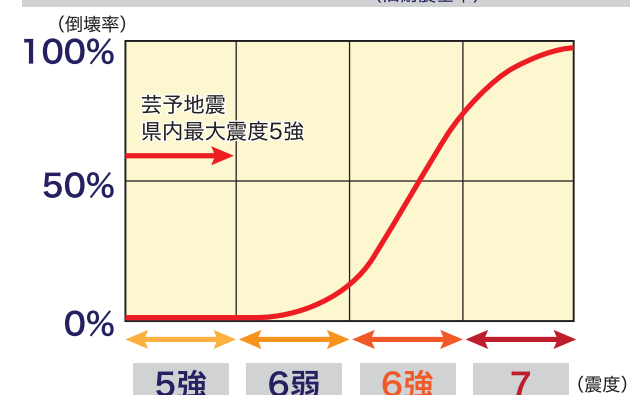


旧耐震基準(昭和56年5月以前)の木造住宅は 震度6強~7の大地震で倒壊する可能性大!

▶現在の建築基準法(新耐震基準)で定められている耐震性能は①中地震(震度5強程度)で損傷しないこと②大地震(震度6強~7程度)で大破、倒壊しないことの2点ですが、昭和56年5月以前に建設又は着工した旧耐震基準の建物は①だけ、あるいは法制定以前の古い建物などは耐震基準等は考慮せずに建てられています。

▶旧耐震基準の木造住宅の全壊する割合は、震度6を超えると、急激に高くなるとされています。平成13年の芸予地震は、県内では今治市など最大震度5強どまりだったので、家屋の倒壊はほとんどありませんでしたが、6強以上の大地震が発生すれば極めて危険です。

震度と木造住宅の倒壊率の目安 (旧耐震基準)



いざという時、情報をもとに緊急避難の判断をしましょう!

■5段階の警戒レベル 避難を判断するための防災情報

事前に家族や地域で決めた避難所へ落ち着いて避難しよう。

警戒レベル 1・2
気象庁が発表

ハザードマップ等で自分がすべき行動を確認し、避難に備えよう。

警戒レベル 3
西条市が発令

危険な場所から
高齢者等は避難!

高齢者等避難

- 避難に時間がかかる方(高齢者・障害のある方・妊婦・乳幼児がいるご家庭)
- 土砂災害警戒区域に住んでいる方
- 水位上昇のおそれがある河川沿いに住んでいる方

上記の方は速やかに避難を開始しよう。

警戒レベル 4
西条市が発令

危険な場所から
全員避難!

避難指示

危険な場所にいる人は速やかに安全確保しよう。避難先までの移動が危険な場合は、近くの安全な場所、自宅内のより安全な場所に移動しよう。

警戒レベル 5
西条市が発令

命の危険
直ちに安全確保!

緊急安全確保

すでに災害が発生している状況。命を守るための最善の行動をとろう。

※西条市洪水ハザードマップより